

過去5年間主要大学合格者数(現役+既卒生)

		27年度 52期生	26年度 51期生	25年度 50期生	24年度 49期生	23年度 48期生
国立	東大	74	71	62	65	60
	一橋大	18	13	13	19	10
	東工大	10	12	17	14	21
	国立医大	22	25	19	27	15
国立合計		158	161	144	153	138
私立	慶応	148	128	135	138	135
	早稲田	180	156	178	168	142
	私立大合計	570	501	535	485	467
現役進学率%		77	73	79	73	71

# 平成27年度 大学入試結果 東大合格者数は過去最高

2015年度入試の結果が先頃まとまり、52期の高3生は、東大合格62名、一橋・東工大合格23名という華々しい結果を出してくれました。特に東大合格者数は、これまでの現役合格者数最高だった昨年度を上回りました。また浪人生の合格者数12名と合わせても74名となり、こちらも過去最高の人数となりました。

一方で国立大医学部の合格者数は22名(内現役14名)となり、こちらは例年並みの数で、昨今の医学部人気、特に進学校での医学部人気が高まる中、東大以上と言われる難易度の高さとなったことを裏付けています。それでも東京医科歯科大学医学部に4名(内現役

## 見事な52期生の一体感

教務部 進路指導担当 内田 洋

3名、横浜国立大学医学部に5名(内現役4名)、東京大学理科Ⅲ類に3名(内現役1名)と、人気の高い医学部に多くの合格者を出したことは喜ばしいこととあります。

52期生は学業面では堅実な学年で、難関大学の入試でも重要となる基礎的な学力がしっかりと身につけていました。言われたことをしっかりと守り、地道に努力を続けたことが、そうした安定感のある学力をつけたように思われます。

模擬試験の結果などを見ても、ずば抜けた成績を誇る生徒が極端に多いというわけではなく、一方で、基礎の基礎が身につけていない、という生徒がごく少なく、学力の上での一体感のようなものがあつたように思われます。

学力差が少ないと、たとえ何かある一つのメッセージを教員が発した時、それが響く生徒の数も多くなり、自ずとメッセージや指導の効果も大きなものになってきます。

中学から高校へと続く担任・教科担当の先生方の不断の指導と、それを謙虚に受け入れ、心えようと励んできた52期生諸君の素直さがこうした一体感を維持してきたのでしよう。

同時に、クラブ活動やその他の様々な学校活動での52期生の活躍も忘れられません。

特に、中心となる学年である高2となった時の生徒会活動、聖光祭、体育祭と

見られたそうです。諸活動に真摯に取り組み、議論するような姿勢がここへつながつたであろうというところは想像に難くありません。

と来春の捲土重来を期する52期生50名も残っています。彼らの来春の健闘を祈りながら、まずは、この春から大学生として歩み始めた卒業生諸君を祝福したいと思います。本当に、おめでとうございました。

## 退任の先生

油本 達夫 (あぶらもと・たつお)



昭和24年9月13日生  
昭和47年4月1日(平成27年3月31日)英語科教諭

稲葉 利子 (いなば・としこ)



昭和22年12月6日生  
昭和49年6月17日(平成24年3月31日)養護科教諭  
平成24年4月1日(平成27年3月31日)養護科非常勤講師

## 英語教育の新しい取り組み



社会構造が大きく変化していく中で、日本の将来を動かしていくことになる生徒たちのためには、従来とは異なる新しい教育を創造することが求められています。特に英語教育に関しては、スピーディな対応が求められています。ここでは、英語のスピーキング力向上のために今年度から始めた取り組みのいくつかをご紹介します。

## 新任の先生

五十棲 浩二 (いそずみ・こうじ)



33期  
英語科教諭

国嶋 応輔 (くにしま・おうすけ)



36期  
英語科教諭

昨年度9月から、聖光学院の教壇に立たせて頂いた油本・五十棲です。昨年度・今年度と高校1年生の英語を担当するとともに、今年度は中学2年生の帰国子女の英語のクラスも週1コマ担当させて頂いております。

経歴としては少し変わった

ある程度予想はしていたのですが、実際に教壇に立つてみると、聖光学院の生徒たちは着任前に想像していた以上に聡明で、無限の可能性を持っていると感じます。

授業を通じて彼らとお互いに刺激を与え合うとともに、社会人生活で経験したことでも活かしながら、生徒たちが持っている可能性をさらに伸ばすお手伝いをさせていただきます。

今年度より、聖光学院の教壇に立たせて頂いております。国嶋です。大学卒業後10年間は別の学校で教鞭を執っていましたが古巣に戻ってまいりました。生徒会長も務めていた思い出のある母校での生活は、校舎が変わったとはいえ懐古趣味に浸ることを禁じ得

聖光学院の更なる発展の一助となるよう励んでまいりますので、よろしくお願いたします。

## 編集後記

今回の校友会報は左記の広報委員会中心で作成編集しました。

- 委員長 狩野 靖夫(14期)
- 委員 中野 秀和(11期)
- 花家 徹(13期)
- 朝倉 慎二(23期)
- 榎田 恭平(27期)
- 田中 崇司(28期)
- 加賀美博之(31期)
- 小島 勇祐(37期)

前号でお知らせしましたように、今回委員長が交代致しました。茅野 誠(9期)前委員長お疲れ様でございます。

急な交代でご指名頂き、私自身大変プレッシャーを感じております。これから代々委員長の意思を受け継ぎ、年一回発行という制約の中ではございますが、委員一同、少しでも旬な情報をお届けしたいと思っておりますので、ご愛読のほどよろしくお願いたします。(狩野靖夫)

## FGLP プログラム

国内で夏休みに高1・高2の希望者が参加できるプログラムです。ハーバード大学の学生・卒業生(8名)が講師として来日し、聖光学院内でワークショップを行います。自分の考えを的確に英語で伝えるスキル的重要性を理解してもらえ、と思っています。また、ハー

## Skype 英語講座

インターネット回線を利用する無料通話サービス「Skype」を利用し、フリリン人講師によるマンツーマン形式のレッスンを導入しました。学校で週3回、自宅で週2回、レッスンを受講するシステムです。生徒のレベルに合わせてカリキュラムとなっており、相手に伝える英語の上達を目指しています。最終的な目標は、高校2年生になったとき、英語でプレゼンテーションができる力をつけることです。

## セブ島英語留学

今年の夏休みには、フィ

リン・セブ島英語研修旅行を実施する予定です。中学3年生の希望者が、英語漬けの2週間を過ごします。英語力を高めるトレーニングですので、エメラルドグリーンの海を前にしながらも、アクティビティを楽しむ時間は多くないと覚悟の上での参加となります。